



戸外の緑が広がる「おおぞらテラス」
(右から)

株式会社日立製作所 研究開発グループ
社会イノベーション協創統括本部 企画室 主任デザイナー
片山 淳詞氏

中央研究所 企画室室長 谷崎 正明氏

技術戦略室 技術統括センタ 研究管理部 広報企画ユニット
主任技師 有金 剛氏



カフェライブラリーはテーマごとにこだわりの
選書が並びセミナーの場にも使われる

国分寺駅 近くの住宅街を北に抜けると、日立製作所中央研究所の森が忽然と現れる。22haもの敷地内に、武蔵野の原生林が残されていることにまず驚く。この自然環境は、日立創業者の小平浪平氏から「よい立木は切らずによくて建てよ」の命を受けて、1942年からずっと保たれているものだ。橋を渡り、創業者の名を冠した小平記念館を通り抜けると、2019年3月竣工の「協創棟」が見えてくる。

日立は2015年に研究開発グループの体制を一新し、顧客とともにソリューションを開発する「オープンイノベーション」推進に舵を切った。フロント組織となる「社会イノベーション協創センタ」、技術基盤を開発する「テクノロジーイノベーションセンタ」、将来の社会課題を解決する「基礎研究センタ」の3つの柱からなる。「協創」はそれを支えるコンセプトだ。そして中央研究所は再編以前から「研究者がやりたいテーマを自ら温めて、意志を持って探究し提案する“アンダー・ザ・テーブル、の文化が昔からあります」と、同研究所企画室室長の谷崎正明氏は言う。

その精神が受け継がれた中央研究所の「協創の森」は、オープンイノベーションのエコシステムをつくる前線基地。「さまざまなステークホルダーと議論し、解くべき問いや課題を共有し、将来ビジョンを発信していくことが狙いです」（主任デザイナー 片山淳詞氏）

1階にあるオープンスペース「NEXPERIENCEスペース」は、従来は「クローズ」が主だった研究機能を外部に思い切って開け放ち、多種多様な知をつなげる象徴的な場所。アイデアソンやハッカソンでアイデアを創出したあとは、キッチンを囲んで緩やかに談笑もできる。その他には国際学会が開けるほどの講堂「日立馬場記念ホール」、森を望む「カフェライブラリー」を備える。2階にある、ガラス張りの「プロジェクトルーム」は、外部の顧客やパートナーを交えたプロジェクトがいくつも進行する心臓部。5Gを活用したIoTプラットフォームなどの先端技術の集中開発が行われる。研究所をオープンにしたことで、国分寺地域において、市民参加型で未来の地域社会の将来ビジョンをデザインする「フューチャー・リビング・ラボ」活動も生まれた。

森の外気を取り入れたサーキュラーな空調システムも特徴的。自然を生かした、開かれた建物、そしてそこに集う人々の活動から、日立らしさとは何かが伝わってくる。

(写真/元家健吾 [表紙] 取材・文/根本洋子)

KAIKAを支援する! JMAの事業活動のご紹介

変わるものづくりの姿、変わらないものづくり魂
～学びと進化を止めるな! ニューノーマルなものづくりとその未来を探る～

ものづくり
総合大会
ONLINE

2021年2月

9日(火) 10日(水)
15日(月) 16日(火)
17日(水) 18日(木)
19日(金) 24日(水)
25日(木) 26日(金)

ものづくり総合大会は、開発・設計、生産技術、生産、購買・調達、品質、人材開発までのお取り組みを先進企業に発表いただく講演会です。これからの「ものづくり」への気付きを得ていただくことを目的に年に1回開催しており、今回で第58回を迎えます。今年度はオンラインで開催いたします。ご期待ください!

詳細は下記ホームページをご参照ください。

<https://jma-seisan.jp/>



オンラインカンファレンス

日本最大級の優良マーケティングケースの事例講演会

第57回

2021
マーケティング
総合大会

2021年
3月9日(火) ▶ 12日(金)

マーケティング総合大会は、マーケター同士の優良な知識共有・協働の場を提供することで、共・進化を促し、産業界の発展に寄与することを目的に開催しています。ヒット商品、ロングセラーブランドから新たなビジネスモデルや市場創造まで、マーケティングに関する成功事例を幅広く聞くことができます。これまで56回の開催を誇り、4日間でのべ3500人以上が参加する講演会です。講演会は同時中継し、オンライン上でも聴講いただけます。

詳細は下記ホームページをご参照ください。

<https://jma-mkc.com/>

